

光市記者発表資料

平成30年 2月 8日

件名

「大人のための文学講座」開催について

内

1 目的
読書啓発及び生涯学習の様々な機会の提供に努めることを目的として、
文学講座を開催する。

2 演題
「中原中也 あるいは魂の労働者」

3 講師
中野新治（なかの しんじ）氏（梅光学院大学特任教授）

4 日時
平成30年3月3日（土）13時30分～15時

5 場所
光市立図書館2階視聴覚室（光市光井九丁目18番1号）

6 対象及び募集人数
高校生以上
50名（先着順・無料）

容

7 申込先及び申込方法
光市立図書館
図書館窓口または電話でお申し込みください。
TEL 0833-72-1440

8 主催
光市立図書館

問合せ

担当課 光市教育委員会 図書館
担当者 林 由紀子
電話 (0833) 72-1440

☆ _____ ☆

あゝ おまへはなにをして来たのだと……

吹き来る風が私に云ふ

～「掃蕩」より～

☆ _____ ☆

日時：平成30年3月3日（土）

13：30～15：00

場所：光市立図書館2階視聴覚室

（光市光井九丁目18番1号）

対象：高校生以上

定員：50名（先着順・無料）

講師：中野 新治 氏（梅光学院大学特任教授）

1947年山口県生まれ。関西学院大学文学部日本文学科卒。

著書『宮沢賢治・童話の読解』にて1995年度宮沢賢治賞奨励賞を受賞。著書『宮沢賢治・童話の読解』（翰林書房）など。

中原 中也（なかはら ちゅうや） 1907～1937年

詩人。山口県生まれ。少年のころから短歌や詩をつくり、文学の道を志す。18歳で上京、評論家の小林秀雄らと出会って、フランスの詩人ランボー、ベルレーヌらがはじめた象徴詩を学び、大きな影響を受けた。1925（大正15）年の『朝の歌』によって作風を確立する。代表作として1934（昭和9）年刊行の詩集『山羊の歌』、結核で死去した直後に発刊された『在りし日の歌』がある。どの詩にも、若いころから、人生についてのむなしさと魂の調和へのあこがれをいっていた心のさまが、美しいリズムであらわされている。

～『総合百科事典ポブラディア』（ポブラ社）より～

主催：光市立図書館

問合せ・申込先：光市立図書館 TEL：0833-72-1440

中原中也
あるいは魂の労働者